

軍隊組織も師団、軍団などから機動力重視の(UEy UEx UA)などへ改編・強化

戦術指揮統制(C4I:指揮 Command、統制 Control、通信 Communication、コンピュータ Computer、情報 Intelligence)

「即時に展開可能で完全に統合された軍隊、遠隔地に迅速に到達し、海・空軍力と協力して迅速に敵を攻撃し、壊滅的な結果を与えることのできる軍隊」「将来の軍隊は、そのサイズよりも、その機動力と俊敏性によって規定される。・・・ステルス性・精密兵器・情報技術により重きを置くものとなる」

全世界を股にかけて、フットワークよく迅速対応する体系へ。同時に経費削減。

GPR は基地の再編や兵力の再配置だけに止まらず、訓練や作戦行動、同盟国との協力関係、駐屯軍地位協定などの変化も伴う

同盟国の役割強化

不確実性に対処するための柔軟性の増強

地域ごとの戦略からグローバルレベルの戦略への転換

即時展開能力の増強

数ではなく能力の重視

(国立国会図書館 ISSUE BRIEF NUMBER 455(Sept.24.2004))

【アジア米軍の再配置】

韓国

- ・ 駐韓米軍の段階的大規模撤収(12,500名の段階的撤退(2008年))
- ・ 残存する主部隊及び駐韓米軍司令部、国連軍司令部の漢江以南の平澤移転
- ・ 米第2師団がUEXに改編(ストライカー部隊：重装備部隊から中装備機動部隊へ)
- ・ 2006年までに110億ドル以上を投資して駐韓米軍の戦力増強
- ・ MD体制の構築(パトリオットミサイルPAC-3と日本海へのイージス艦配置)
- ・ 「東北アジア空軍戦闘司令部」(AFNEA)が、2006年1月に京畿道烏山基地に創設

日本

- ・ 「沖縄の負担減」と駐日米軍の再編
- ・ 米陸軍第1軍団司令部の座間基地移転、駐日米軍司令部(横田基地)の機能改編
- ・ 普天間基地の代替基地建設(辺野古沖移設、嘉手納統合、下地島移転)
- ・ 岩国基地の拡充・強化(沖合滑走路の新設、大型艦船が接岸可能な岸壁)
- ・ 自衛隊と米軍の共同使用基地化推進

グアム

- ・ 5億ドル以上をかけて施設整備が進行中
- ・ B-52戦略爆撃機6機、ステルス爆撃機の追加配備
- ・ 原潜7隻、B-2ステルス爆撃機の追加配備
- ・ F/A-22の配備など

【最後に】

- ・ 「歓迎されない所に米軍を駐屯させない」(ラムズフェルド等米軍高官発言)
- ・ ビエケス島(プエルトリコ)米海軍演習場の閉鎖 ・ 梅香里(韓国)米空軍爆撃場の閉鎖
- ・ 沖縄(辺野古)基地建設の「停滞」 現地に於ける徹底阻止闘争の成果
- ・ 「反対」と「歓迎」の狭間で米軍再配置と大規模基地建設が推進される
- ・ 韓国社会(関心増大)と日本社会(関心薄)との対比
- ・ 「現地闘争」の重要性。「現地と都市部の連帯」(全国化)問題などが課題

以上